

2014年理学部(個別日程)第1問

1枚目/2枚

1 次の空欄  ア ~  コ に当てはまる数または式を記入せよ。

- (1) 1でない実数  $a$  に対し,  $f(x) = x^3 + ax^2 + x + 1$ ,  $g(x) = x^3 + x^2 + x + a$  とする. 方程式  $f(x) = 0$  と  $g(x) = 0$  がただ1つの共通解をもつならば,  $a =$   ア  $であり, f(x) = 0$  のすべての解は  イ である.
- (2)  $x > 0$  のとき,  $f(x) = e^{-\sqrt{3}x} \sin x$  の最大値は  ウ であり, 最小値は  エ である.
- (3)  $z = \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i$  とするとき,  $z^{2014} =$   オ  $+ i$  である. ただし,  $i$  は虚数単位とする.
- (4)  $a, b$  を2から9までの自然数とすると,  $a, b$  の組  $(a, b)$  は64通りあるが, そのうち  $\log_a b$  が整数となるのは  キ 通りであり, 整数でない有理数となるのは  ク 通りである. 5
- (5) ベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  は,  $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 1$  かつ  $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{1}{3}$  を満たす. このとき, ベクトル  $\vec{c} = p\vec{a} + q\vec{b}$  が  $\vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{5}{3}$ ,  $\vec{b} \cdot \vec{c} = -3$  を満たすならば,  $p =$   ケ  $, q =$   コ である. ただし,  $p, q$  は実数とする. 11, 3, -4

(1) 共通解を  $\alpha$  とおくと.

$$\alpha^3 + a\alpha^2 + \alpha + 1 = 0 \dots \textcircled{1}$$

$$\alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + a = 0 \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1} - \textcircled{2} \text{ より. } (a-1)(\alpha+1)(\alpha-1) = 0$$

(i)  $a=1$  のとき.

$f(x) = g(x)$  となるので 共通解を2つもち不適

(ii)  $\alpha = -1$  のとき.

$$\textcircled{1} \text{ より. } -1 + a - 1 + 1 = 0 \therefore a = 1 \text{ となり}$$

(i) より 不適.

(iii)  $\alpha = 1$  のとき.

$$\textcircled{1} \text{ より. } 1 + a + 1 + 1 = 0 \therefore a = -3$$

$$\text{このとき. } f(x) = (x-1)(x^2 - 2x - 1)$$

$$g(x) = (x-1)(x^2 + 2x + 3)$$

$\therefore$  共通解は1つのみ

(i) ~ (iii) より.

$$a = -3, f(x) = 0 \text{ のすべての解は. } x = 1, 1 \pm \sqrt{2}$$

(2)

$$f(x) = -\sqrt{3}e^{-\sqrt{3}x} \sin x + e^{-\sqrt{3}x} \cos x$$

$$= -e^{-\sqrt{3}x} (\sqrt{3} \sin x - \cos x)$$

$$= -2e^{-\sqrt{3}x} \cdot \sin(x - \frac{\pi}{6})$$

$e^{-\sqrt{3}x}$  は単調減少の関数なので

$0 < x \leq 2\pi$  の範囲で考えればよい

$x$	(0)	...	$\frac{\pi}{6}$	...	$\frac{7\pi}{6}$	...	$2\pi$
$f'(x)$		+	0	-	0	+	
$f(x)$	(0)	$\nearrow$		$\searrow$		$\nearrow$	0

$$f(\frac{\pi}{6}) = \frac{1}{2}e^{-\frac{\sqrt{3}}{6}\pi} > 0$$

$$f(\frac{7\pi}{6}) = -\frac{1}{2}e^{-\frac{7\sqrt{3}}{6}\pi} < 0$$

$$\therefore \text{最大値 } \frac{1}{2}e^{-\frac{\sqrt{3}}{6}\pi}$$

$$\text{最小値 } -\frac{1}{2}e^{-\frac{7\sqrt{3}}{6}\pi}$$

$$(3) z^{2014} = (\cos 60^\circ + i \sin 60^\circ)^{2014} = \cos(60^\circ \times 2014) + i \sin(60^\circ \times 2014) = -\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{3}}{2}i$$



2014年理学部(個別日程)第1問

2枚目/2枚

1 次の空欄  ~  に当てはまる数または式を記入せよ。

- (1) 1でない実数  $a$  に対し,  $f(x) = x^3 + ax^2 + x + 1$ ,  $g(x) = x^3 + x^2 + x + a$  とする. 方程式  $f(x) = 0$  と  $g(x) = 0$  がただ1つの共通解をもつならば,  $a =$   であり,  $f(x) = 0$  のすべての解は  である.
- (2)  $x > 0$  のとき,  $f(x) = e^{-\sqrt{3}x} \sin x$  の最大値は  であり, 最小値は  である.
- (3)  $z = \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i$  とするとき,  $z^{2014} =$   +   $i$  である. ただし,  $i$  は虚数単位とする.
- (4)  $a, b$  を2から9までの自然数とすると,  $a, b$  の組  $(a, b)$  は64通りあるが, そのうち  $\log_a b$  が整数となるのは  通りであり, 整数でない有理数となるのは  通りである.
- (5) ベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  は,  $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 1$  かつ  $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{1}{3}$  を満たす. このとき, ベクトル  $\vec{c} = p\vec{a} + q\vec{b}$  が  $\vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{5}{3}$ ,  $\vec{b} \cdot \vec{c} = -3$  を満たすならば,  $p =$  ,  $q =$   である. ただし,  $p, q$  は実数とする.

- (4) 整数となるのは,  $(a, b) = (2, 2), (2, 4), (2, 8), (3, 3), (3, 9), (4, 4), (5, 5),$   
 $(6, 6), (7, 7), (8, 8), (9, 9)$  の 11通り //

整数でない有理数となるのは,  $(a, b) = (4, 2), (8, 2), (9, 3), (4, 8), (8, 4)$  の 5通り //

$$(5) \vec{a} \cdot \vec{c} = \vec{a} \cdot (p\vec{a} + q\vec{b}) = p|\vec{a}|^2 + q\vec{a} \cdot \vec{b} = p + \frac{1}{3}q = \frac{5}{3}$$

$$\therefore 3p + q = 5 \dots \textcircled{1}$$

$$\vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{b} \cdot (p\vec{a} + q\vec{b}) = p\vec{a} \cdot \vec{b} + q|\vec{b}|^2 = \frac{1}{3}p + q = -3 \dots \textcircled{2}$$

① - ② より.

$$\frac{8}{3}p = 8 \quad \therefore \underline{p = 3, q = -4} //$$